

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 6年 4月 1日

事業所名 放課後等デイサービスぞうさん今宿教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		指定基準以上のスペースは確保できている。	
	2	職員の配置数は適切である	○		加算を行い、5～7名の職員を配置している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	○		バリアフリーに対応した設備になっている。	
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	○		月ごとに目標設定し、振り返りを行い業務改善に努めている。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○		保護者からのご意見は真摯に受け止め、今後の支援に役立てている。	
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○		保護者向け評価表を含め、事業所評価をホームページに掲載している。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		今後検討する。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		オンラインの研修を含め、専門職により研修等実施していく。	外部研修で学んだことをアウトプットできる体制を整える。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	○		児童や保護者のニーズや課題に沿った個別支援計画書を作成している。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○		事業所でアセスメントシートを作成し、活用している。	
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	○		活動内容が固定しないよう、月に1度会議をしている。	
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		運動療育は楽しみながら行えるよう工夫しており、児童のニーズに合わせ工作やクッキングも取り入れている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	○		休日、長期休暇は支援時間が長い為、課題を決めて支援にあたっている。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	○		様々な観点から検討し、計画書を作成している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		活動前にミーティングを行い、支援内容や役割について共有している。	
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		終礼で一日の振り返りを行い、活動内容の共有や改善点等の話し合いの場を設けている。	
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		利用児童ごとに、個別支援計画書に基づいて日々の記録をとっている。	
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	○		少なくとも半年に一度モニタリングし、個別支援計画書の見直しを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	○		ガイドラインに沿った支援を心がけている。	

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携	20 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○		児童発達支援管理責任者と担当職員でサービス担当者会議に参加している。	
	21 学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	○		保護者と連絡帳や電話でのやり取りを中心に、年間計画や下校時間などの情報共有を共有している。	
	22 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている				現在、医療的ケア児の利用はない。
	23 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている		○	就学前の様子は、主に保護者や相談支援専門員から情報を共有している。	必要に応じて児童発達支援事業所や保育園等の訪問を検討する。
	24 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	○			現在、障害福祉サービス事業所へ移行した児童はいない。今後の対応として、積極的に連携していく。
	25 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○			機会があれば研修等積極的に参加したい。
	26 放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	○		公園や児童館で障がいのないこ	年2回の保護者会では、障がいのない兄弟児との活動の場を設けている。
	27 (地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	○		西区サポートネットの協議会や研修に積極的に参加している。	
	28 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○		送迎時や連絡帳にて共有している。また、質問や課題に対しては電話や面談にて対応している。	
	29 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	○		保護者会ではSST、感覚統合を行った。今後もペアレントトレーニングを実施していく。	
保護者への説明責任等	30 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明している。	
	31 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○		保護者からのお悩みや相談については適宜対応している。	
	32 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		保護者懇談会は年に2回実施している。保護者同士のコミュニケーションが取りやすいよう、親子で取り組むなどの工夫をしている。	
	33 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	○		契約時に苦情窓口、苦情解決責任者等のご説明をしている。苦情には迅速に対応している。	
	34 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		避難訓練の様子や職員紹介等のお知らせを配布している。行事予定や活動の様子はSNSに掲載している。	
	35 個人情報に十分注意している	○		個人情報保護の規定があり、取り扱いには十分注意している。書類は鍵付き書庫に保管している。	
	36 障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		写真や絵カードを使ったコミュニケーションツールや一日のスケジュール表を掲示している。	
	37 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		今後検討する。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
非常時等の対応	38 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	○		各種マニュアルは作成し、職員に周知している。	
	39 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		年に4回火災、地震、不審者等の避難訓練の実施、防災センターへ行き災害時に備えている。	
	40 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		マニュアルの周知、虐待防止の研修に参加している。	
	41 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	○		契約時に説明している。	
	42 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている		○	契約時にアレルギーの有無を確認し、表を作成。アレルギー研修に参加している。	
	43 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		ヒヤリハットを作成し、共有、今後の対応等を検討している。	